

## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信濃の国民話フェスティバル
事業主体 (連絡先)	信濃の国民話プロジェクト実行委員会
事業区分	(8)地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	997,421 円 (うち支援金: 742,000 円)

### 事業内容

主旨に賛同した11グループが各地域の特色を生かした活動を発表し合い、滞在型観光へ結びつける道筋とする。

このフェスティバルにより各地域とのつながりが生まれ、新しい観光へ繋げるための足掛かりとする。

第1回信濃の国民話フェスティバル

実施日 令和4年11月6日(日)

場 所 松本市信毎メディアガーデン 1F

参加グループ 県内11グループ

参加出演者 52名余



【フェスティバル当日】

### 【目標・ねらい】

- ①民話を通して人と人の繋がりのある観光の形を目指す。
- ②新しい観光と共に地域活性化への足掛かりとする。
- ③次世代への文化継承
- ④長野県を「信濃の国民話の郷」として発信する。

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

他の地域の仲間と知り合いお互いの活動を鑑賞、讚え自分達の糧とすることが出来、地域づくりへの気運が高まった。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・各地域の活動を知り、互いに行き来することで地域の活性化、観光の形を滞在型観光に結びつける目標が見えてきた。
- ・民話を地域資源の一つとして観光に結びつけようとの認識を一つにした。
- ・入場予定130名を上回り入場者数217名で反響の大きさを感じた。
- ・次年度に開催希望の意欲が見られることからそれぞれの地で実行委員会が中心となり各地の情報を集約し、第2回目以降の活動を目指す。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

第一回の全体発表会にそれぞれの地区の活動を認識しあい、お互いの情報を交換し合うことにより交流を重ねる。

情報交換により、互いの地域を訪ね合い観光にもつなげる。

各地域での活動を充実させそれぞれの地域の個性豊かなフェスティバルを目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある